

## 第4回学校運営協議会 記録

### 1 校長より

- ・今年度最後の学校公開と道徳授業地区公開講座ありがとうございます
- ・各学年学習のまとめの時期で、次の学年にむけて指導をしています
- ・6年生は卒業式の練習送る会、祝う会にむけて頑張っています

#### ○教育課程・計画について

- ・新おおた教育ビジョンにそって教育課程を編成している
- ・令和7年度から、5・6年生は新教科おおたの未来づくりがはじまる 時数は年間35時間  
5年生の佃煮の授業のように、商品開発をしたり、6年生の「ステップ萩中」の羽田の地域に絡めて歴史や文化を深く勉強をしたりする教科になる
- ・1・2年生は外国語活動がはじまる 年間25時間に時数が増える  
国際都市大田を掲げて、英語を身近に感じ親しみをもってもらえるようにする
- ・開校70周年にむけて学校のお祝いを考えていく
- ・理科の研究推進拠点校として研究をすすめていく

#### ○来年度の行事

- ・5月24日（土）運動会
- ・11月8日（土）開校70周年記念式典  
祝賀会（萩中集会所で120人程度の規模、各町会5名ずつお招きする予定）

#### ○学校評価について

- ・名札の有無の検討  
検討理由：洋服に穴があいてしまう、つけたまま下校したり、なくしたりする児童がいる
- ・来年度の「ステップ萩中」の在り方の検討  
検討理由：来年に限って、記念式典や児童集会の中で取り組む予定なので、「ステップ萩中」として単独の行事は行わない方向でいきたい

### 2 意見交換

- ・理科教育推進拠点校として、理科室の備品や教室環境を新しくしていくべき
  - ・来年度は、全面的に周年を押し出していくべき。こどもたちにも記憶に残るから大きく行えるとよい
  - ・万引きが中学生だけでなく小学生も増えているので、指導を強化していく必要がある
- 理科教育推進拠点校として備品等の特別な予算配当はない。その代わりに報償費が別途配当されており、様々な取り組みができていく（移動プラネタリウムや移動動物園など）
- ・講演会では、思春期の子供との付き合い方を学ぶことができた
  - ・12・1月、登校時のあいさつをして様子を見て回ったときに、あいさつが減ってきたと感じたのであいさつを推進してほしい。出雲中から、萩中小の子はいい意味でおとなしく、悪くいうとのまれている感じがあるので、中学生にむけてもあいさつは頑張してほしい
  - ・周年について、周年の委員さんを別途募集している。周年の予算は、ある程度限られている予算の中で、周年の委員さんを中心に考えていく

- ・5年生の佃煮を試食して新商品として販売してほしい、そのくらいおいしかった
- ・休み時間、みんな元気に体を動かしている様子が見られてよかった。コロナの影響や熱中症対策もあり、外に出て遊ぶ児童が減っているなかで、元気いっぱい遊べる環境は素晴らしい
- ・体力の低下が言われているが、萩中小学校の実態はどうか。

→体力面はそんなに落ちていないが、投げる力は公園等でもこどもたちが投げる場所がなく、低下しており、課題である。校庭が広く、一人当たりの面積が広いのが利点である。

暑さ対策の観点から、PTAと相談し、来年は夏の校庭開放は体育館で行う予定になっている。

- ・佃煮は大谷さんらしい上品な味だった。参観者が多くて驚いた
- ・式典はどのように運営していくのか

→周年は学校行事として、祝賀会は周年の委員さんが中心に運営していく予定

- ・8つの佃煮を食べ比べて、素材の味を楽しむことができた
- ・70周年楽しみにしている。戦後は焼野原で荒地だったのが、学校や公園ができてきれいな街並みになった。今は子育てをする家庭が減ってきている感じがしており、街中で子供が遊んでいたたりすれ違ったりする機会が減ってきている。世代交代が上手にできていないので、これから若い人が増えてにぎわってくればいいなと思っている
- ・5年生の佃煮がおいしかった。自分の佃煮をアピールしていたので、一生懸命さが伝わってきた
- ・運動会のテントについては区に話をして各学校にテントを配布するようお願いをした。20張購入してもらったので、区が学校に搬入をしてくれる。いずれは、各学校にテントを十分においてもらえるようにしたい。テントを使う場合は、早めに連絡をすること。

- ・名札については、個人情報問題でつけ続けるのは難しくなってくるのではないかと
- ・会計事故について、臨時保護者会の時に区の職員が来ていたが、何のために来ていたのかわからなかった。学校が作った書類すべてに目を通して、直接話をしに行った。

学校側は区を信頼して区に助けてもらいたいと思っているので、区の取り組みを改めるべきだと思った。1年1回給食費を出すのではなく、年に3～4回にして分けるなどの対策をとるなど。これらを踏まえて区は今検討しているそうです。

- ・2年生の授業では、ICTを活用して書いた手紙を録音機能を用いて読み上げる児童もいた
- ・4年生ではアンケート結果をもとに考え、ストーリーをつくって発表していた。教科を超えた総合的な授業が増えていると感じている
- ・周年については、周年に集中する委員会の募集をかけており、盛り上げていきたい
- ・PTAとして、おやじ部隊をつくった。現時点では10名程度が参加している。力仕事やテント設営のときに動員していきたい
- ・名札については、親は見る機会がなく、子どもからも何も要望は聞いていないが、毎日ではなくても、親がくるときだけつけるなどしてもいいのでは
- ・佃煮は、レモン味やホタテ入りなど斬新なアイデアで、試行錯誤したことがよくわかった。資料をもって宣伝する姿をみて、大人になって必要な力なのかなと感じた
- ・学校内では元気よくあいさつできている。朝は声が小さいが、あいさつしてくれる子もいる
- ・かかとを踏んで登校している子が気になる。保護者の方には朝、上着を着ていることや靴をきちんと履いていること、忘れ物はないかなど、確認してからいってらっしゃいを見送ってほしい。登校班については、週に1回親が立つのは大変だから、地域の方が見送れるといい

- ・周年については、カウントダウンするなど盛り上げていくべき
- ・給食の献立が面白い。明治時代や昭和時代の給食、大田区発祥の揚げパンなど、取り組みがすばらしいと思った。昔の給食を地域みんなで食べたかった。
- ・学校に来ると声をかけてくるこどもが多くてうれしい
- ・名札は個人的にはつけてほしい。名前と呼んであげてコミュニケーションをとりたい。
- ・道徳の授業5－1 自作教材を取り上げており、大変良かった。
- ・周年で行っている看板づくりは来年度どうするか。50周年は空き缶、60周年はペットボトルをつかって行った。大変だけど、心にのこってこどもたちも楽しい。  
→何を行うかは周年実行委員で詰めていく。